

会議録

会議の名称	令和7年度第2回上三川町地域自立支援協議会
開催日時	令和7年10月22日(水) 午後1時30分～午後2時45分
開催場所	上三川町役場 大会議室
議長(委員長・会長等)の氏名	飯田康人会長
出席者(委員等)の氏名・出席者数	飯田康人会長、志鳥勝則委員、伊澤源水委員、新庄哲二委員、田口成子委員、中指祐一委員、鶴田かよ委員、荒川孝一委員、渡辺由美委員、浦野和恵委員、大島淑江委員、高田 緑委員、大槻英一委員、神山志帆委員、笹島由美委員、石川聰久委員 松本裕生委員 出席者 17名
欠席者(委員等)の氏名・欠席者数	高田美保副会長、矢野由香里委員、鈴木礼子委員 欠席者 3名
事務局職員の職・氏名	海老原課長、信夫課長補佐、隅内係長、森島主査、蓬田保健師、上三川障がい児・者生活相談支援センター荒木相談員 栃木県障害者相談支援協働コーディネータ一大嶋氏
会議次第	議事 (1) 町内事業所紹介 ①あじさいのおか ②ダリアホーム上三川 ③グループホームハーモニー (2) 令和6年度障がい者虐待の受理状況及び障がい者差別解消法にかかる相談受理状況報告 (3) 上三川町政70周年記念 第31回上三川町ふれあい健康福祉まつり開催のお知らせ
配布資料	・次第 ・上三川町地域自立支援協議会名簿 ・あじさいのおか資料 ・ダリアホーム上三川資料 ・グループホームハーモニー資料

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 障がい者虐待受理状況 令和6年度 障がい者差別解消法にかかる相談受理状況 ・上三川町政70周年記念 第31回上三川町ふれあい健康福祉まつり開催要項 ・上三川町政70周年記念 第31回上三川町ふれあい健康福祉まつりレイアウト ・手をつなぐ育成会会員の就学児者を持つ保護者の意見 ・E G A O T A B L Eチラシ
--	---

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
信夫補佐	<p>本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。令和7年度第2回上三川町地域自立支援協議会を開催させていただきます。開催の前に、資料の確認をいたします。机上の資料をご確認ください。</p> <p>資料の不足がございましたらお申し出ください。</p> <p>本日は、町内のグループホームを紹介させていただきたく3つの事業所の皆様にお越しいただいております。また、県南健康福祉センター矢野委員が所用で欠席のため県南健康福祉センター浅井眞穂様に出席いただいております。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、令和7年度第2回上三川町地域自立支援協議会を開会いたします。開会にあたりまして、飯田会長よりごあいさつ申し上げます。</p>
飯田会長	(あいさつ)
信夫補佐	ありがとうございました。それでは、これより議事に入ります。上三川町地域自立支援協議会設置条例第6条により、会長が議長となる規定でございますので、これからのお進行については飯田会長に議長をお願いいたします。

飯田会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず、議事に入ります前に、本日の会議録の署名人を指名させていただきます。今回は、中指委員と高田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
飯田会長	<p>それでは、議事に進みます。「(1) 町内事業所紹介」です。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(町内事業者紹介について説明)
飯田会長	それでは、あじさいのおか様よろしくお願ひします。
あじさいのおか 鶴見氏	<p>あじさいのおか、鶴見と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>まず、部屋につきましては2階が3部屋、1階が1部屋の4床を配置しています。そのうち、現在3床が埋まっています。グループホーム（GH）の魅力と方針につきましては、障がいの方もそうでない方も寄り添って楽しく生活できる居場所を作りましょうということでGHを設立しました。私の子供も障がいを持っていてるのでその経験を生かしたきめ細かなGHの運営が出来ればと思っています。また、地域の困り事だったり、地域のコミュニティの場であったり居場所作りとしても活用しています。心も身体も寄り添っていきたいと思います。</p> <p>また、各種団体との連携を深めています。医療では、どんどんまもろうクリニックさんと医療連携をしています。部屋は普通の1軒屋であり、ごくごく普通の生活が家にいるような形で過ごせるようになっています。退院後のスキルの回復、3色バランスのとれた食事の提供をしています。金銭の管理が苦手な方は、管理のスキルを身に付けることを支援しています。1日の過ごし方としては、朝起床、食事、服薬、着替え、就労先に行ってもらう、戻ってきたら洗濯、入浴、夕食、就寝ということで1日の過ごし方となっています。</p> <p>対象者については、知的と精神、区分2以上、男性18歳以上</p>

	<p>としています。スタッフの体制としては、管理者とサービス管理責任者、世話人生活支援員を臨時職員含めて11人となっています。サービス内容は、食事提供（朝・夕）、金銭管理、健康管理となっています。関係機関との連携調整もしています。家族との連携、生活や困り事の相談を行っています。費用については資料通りです。我々の特徴は1軒屋で家にいるような環境で過ごせることを目指しています。月1のイベントも適宜行っています。先日はさつまいも掘り体験ということで、家庭菜園で利用者とさつまいもを収穫し、焼き芋にして楽しく食べました。楽しく過ごして職員と利用者のコミュニケーションを密に取っていけるようなGHを目指して運営しています。</p> <p>最後に、「あじさいのおか」の名称の由来は、磯川緑地に咲くあじさいがとてもキレイで法人を立ち上げた当初素晴らしいあじさいが見られたことと「あじさい」にはいろいろな色があり、障がいの方もいろいろな方がいます。そういう方が寄り添える環境、それが個性として取り入れられるようなGHを目指していきたいと思っています。「おか」をつけたのは上三川は平坦な土地ですが、意外に日産の磯川あたりは小高い丘になっています。この「おか」に登って気分が清々しい環境であるというようなことも目指したく「あじさいのおか」と名付けました。ご承知いただけたらと思います。以上、あじさいのおかの説明を終わりにします。</p>
飯田会長	ありがとうございました。それでは、質問にお答えいただけたらと思いますが、委員の皆様からご質問等ございますか。
新庄委員	定員は4名ですが、いっぱいですか？
鶴見氏	4名のところ3名入所中です。空きが1名となっています。 見学や体験を随時行っています。
新庄委員	対象者は上三川町民に限られますか？

鶴見氏	特に限りはありません。
飯田会長	<p>その他、ご質問はございますか。</p> <p>では、私から質問します。利用者の男女比・年齢構成・障害区分・職員11名ということですが、通常は何名体制となっているか教えてください。</p>
鶴見氏	<p>入居者3名すべて男性です。年齢層は、20代・50代・40代の方が入所しています。区分は2・3・4となっています。職員で當時いるのは1名となっています。</p>
飯田会長	<p>それでは、あじさいのおか様の紹介を終了します。ありがとうございました。次に、ダリアホーム上三川様お願いします。</p>
ダリアホーム 上三川 磯氏	<p>ダリアホーム上三川磯と申します。よろしくお願いします。去年の11/1にオープンし、早1年が経とうとしているところです。日中支援型のGHで入居者20名が利用中、ショートステイは2室あり、6名位の方が交互に利用しています。お陰様でほぼ満床となっています。年齢層としては、22歳~71歳まで利用、男性7名、女性17名、平均区分が3、5となっています。職員は13名で24時間シフトで回しています。</p> <p>約1年間で退去したのが女性1名（重度知的の方）と、男性2名（重度知的の方）です。この退去の際には、自分たち職員のレベルの低さに直面した部分もあり、他のGHに移動してもらった形になっています。これを踏まえて9/18適切支援に関わる勉強会に参加し、普段何気なく使っている言葉や利用者の呼び方、支援方法について学んできました。代表で参加したが、現場に落とし込みたく11月に実際に行う予定となっています。</p> <p>研修の例題が10行位だったので読みます。Fさん（32歳）、自閉症、療育手帳B1、B型事業所に週5利用中、移動支援が月1回の事例でした。移動支援で公園の決まった散歩コースを15分ほど散歩した後、本屋で買い物をすることがルーティーンとな</p>

っています。移動支援出発前、ヘルパーはFさんの母親から「Fが太ってきた、散歩に行ってくれて大変助かっている」と言されました。いつも行く公園の散歩コースが工事で通行止めとなっていたため、別のコースの散歩コースを提案したが、Fさんは嫌がり車に戻ろうとしました。そこで、ヘルパーは「こっちのコースに行かないと本屋に行かないよ」と声を掛け別のコースで散歩することが出来たという例題でした。この事例は、現場でもよくある傾向だと思いました。この事例について不適切と思われる部分について意見を出し合いました。グループ内にはいろんな職種の方がいましたが、出た意見は同じでした。「言葉でのコントロールしているのではないか」「強制の声かけをしているのではないか」「無理矢理コースを変えたのではないか」「本屋に行かないと言うのはどうなのか」「嫌がっているのに無理矢理散歩を続けさせている」「ヘルパーの意向を押しつけている」「利用者の意見の尊重」などが出ました。自分でも気がつかない支援方法や声掛けがあると改めて気付きました。自分の施設に置き換えると、経験者や未経験者がいます。当たり前に思っていることも未経験者になると良かれと思って言ってしまったり必要以上に手を差し伸べたりする光景も見られます。利用者の名前の呼び方をとっても利用者を～ちゃんと呼ぶ職員もいました。呼ばれている方、周りで聞いている方、利用者、職員、個々の受け方にとっても響き方が違うのではないかということに気付かされました。当施設では呼び方を～さんに統一しました。もちろん、呼び捨てもいいことも再認識させました。常に職員同士が学び合う姿勢が重要と捉えています。なぜ利用者が今の施設を選んでいただけたのか、利用者に笑顔があり、ニコニコわくわくしているのか、自立に向けて取り組んでいるのか、社会との繋がりはあるのか、常に考えて地域から信頼される施設を作り上げて行きたいです。そして外部からの指摘は素直に聞き入れ改善し、地域に貢献できる施設を作り上げて行きたいと思います。スキルアップのためにも研修等に参加し、施設全体の底上げに力を注いでいきたいと思います。まだまだ未熟な点がありますが、周りの方の指導をいただきながら施設を運

	営していきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。
飯田会長	ここで、質問を受け付けたいと思います。何かござりますか。
伊澤委員	消防訓練はどう対処していますか。
議氏	年2回やることになっています。日中と夜間ということで春頃に日中の避難訓練を実施、11月に夜間の避難訓練をやる予定となっています。ただ、避難をするだけでなく水消火も依頼してやっています。職員と一緒に利用者も水消火器を使って火を消す訓練をしました。
伊澤委員	貴重な経験だと思うので是非続けてください。
飯田会長	その他、ありますでしょうか。
高田緑委員	ショートステイについて、上三川は少ないと思います。緊急時とか空きがないと声を聞きます。新規は受けられますか。
議氏	現在、利用している方が定期的に週末だったり平日指定で2部屋が埋まっています。新規としては、空いているところが平日の1泊2日とかになり、長いスパンでは取りにくくなっているが、短いスパンであればご利用いただけます。
高田緑委員	同じ環境の保護者たちに情報提供していきたいと思います。 また、緊急時対応は難しいでしょうか。
議氏	1名の方を緊急時対応で受けてその後、本入居となりましたが、現状は厳しいところです。本当に緊急を要する際は、行政の方と相談しながら空いている会議室にベットを置いたりして大丈夫ですよというのであれば受け入れられるかなと思います。

高田緑委員	少しでもこれから緊急時なりの受け皿が出来るようにお願いしたいと思いました。よろしくお願ひします。
飯田会長	それでは、ダリアホーム上三川様の紹介を終了します。ありがとうございました。次に、グループホームハーモニー様お願ひします。
グループホームハーモニー 豊田氏	<p>はじめまして、エスティーサポート株式会社グループホームハーモニーを運営しています代表取締役豊田と申します。よろしくお願ひします。今までG Hの運営を栃木市で5棟、宇都宮市で4棟、今回初めて8月から上三川町で日中サービス支援型のG Hを開業させていただきました。栃木市と宇都宮市のG Hは包括支援型のG Hだったので日中サービス支援型のG Hは初めての取り組みとなります。</p> <p>オープンしたばかりでして、まだ利用者は少ない状況です。利用者の内訳としましては、現在、男性2名、本日女性1名を受け入れました。これから状況としては、病院に入院している方もいるので退院の調整も図って入居の手続きをしていきたいと思っています。会社の特徴としては、芳賀町に訪問看護ステーションも開設し、私をはじめ看護師が複数在籍しているので、医療体制は万全な体制を取っています。入居者の通院同行や服薬管理、日頃の計画相談、医療的ケアや看護相談を行っています。ここについては、ご家族の方にもご安心いただいている点かと思っています。G Hの内部は、1階が男性10名、2階が女性棟として10名、短期入所を2部屋設けてます。日常の支援としては、金銭管理から相談事です。ただ今、経管栄養の方の受け入れの相談も来ており、医療的ケアの面も十分に体制として整えていたらと思っています。今現在は、身体・知的・精神の方どの障がいの方も受け入れ可能となっています。区分は3以上です。下野市では、B型事業所の運営もしているので近隣地域で地域全体の福祉に貢献していくけるよう取り組んでいきたいと思っています。以上です。</p>

飯田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご質問を受けたいと思います。何かございますか。</p>
志鳥委員	<p>3つのGHに質問したいと思います。家賃補助と記載されていますがどういった状況で補助対象となるのでしょうか。また、朝昼夕とご飯の提供とありますが、各施設に栄養士や管理栄養士は携わっているのか伺いたいと思います。</p>
鶴見氏	<p>家賃補助というのは、実際に住んでる利用者に直接補助されるものではなく、国保連の方からGHに支援されるものであります。食事については、食材の宅配サービスを利用しています。そこで栄養管理をしています。</p>
儀氏	<p>家賃補助については、同じ回答となります。利用料の請求から1万円を引いた金額を利用者へ請求しています。食事については、「たいへい」さんから食材を取っています。「たいへい」さんのメニューを作る段階で栄養士さんが組み立ててくれているので当施設には栄養士はいません。献立表に沿って調味料の細かな量について書いてあるのでそれを見て作っています。1食300円ということで朝昼夕、手作りの食事を提供しています。3月の年度末に本社で決算を出す際に、多く出た食費と光熱費は6月に返金する形を取っています。現金ではなく6月の利用料から差し引いています。</p>
豊田様	<p>家賃補助は、同じ回答となります。食事に関しては、「たいへい」さんや「よしけい」さんを使っています。食事の内容を拝見すると、カロリー計算もされており、それに基づいて調味料も適切に提供しています。</p>
飯田会長	<p>その他ございますでしょうか。では、私の方で質問します。</p> <p>今、3部屋しか埋まっていないということですが、最大の満床になった場合、1床につき職員は何人体制となるのか。</p>

豊田氏	2名となります。
飯田会長	<p>それでは、グループホームハーモニー様の紹介を終了します。</p> <p>ありがとうございました。ここで事業所の皆様は退席となります。</p> <p>それでは、次第の「(2) 令和6年度障がい者虐待の受理状況及び障がい者差別解消法にかかる相談受理状況報告」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(説明)
飯田会長	<p>事務局の説明が終わりましたので、議事(2)の説明について、質疑をお受けいたします。ご意見、ご質問等はございますか。</p>
新庄委員	虐待ケース2件目について、障がい者の特性とは具体的にどういった特性なのですか。
事務局	うなり声や大声を出してしまうということを現場で確認してきました。虐待による声ではなく、本人の声だったということとなります。
新庄委員	近所の通報というのは、普段から分かっていなかったのか。
事務局	本件は、FAXで匿名の通報であったため詳しく伺うことが出来ない件でした。ただ、現場に行ったところ、本人が西側の角部屋に住んでいたので声が道路に漏れて心配となって通報してくれたのかなと推察しています。
飯田会長	<p>その他、ありますでしょうか。</p> <p>それでは、次第の「(3) 上三川町政70周年記念第31回上三川町ふれあい健康福祉まつり開催のお知らせ」についてですが、今日は社会福祉協議会の担当が説明する予定でしたが、担当が急遽欠席となったため私から簡単に説明をさせていただきます。</p>

飯田会長	(説明) 何かご質問があれば承ります。 では、自立支援協議会の委員の皆様の所属する団体もおのおの出展いただく予定となっています。簡単にどんなことをやるのか、当日の活動内容をご紹介ください。
民生委員協議会 田口委員	アンケートに回答をいただき、バルーンアートをやる予定でいます。
訪問看護ステーションひなた 鶴田委員	毎年、健康相談ということで話を聞いたり、血圧や酸素濃度を測っています。訪問看護について浸透させるため協議会からポスターを借りて掲示し、訪問看護の一覧が載っているパンフレットを配布する予定です。
ケアサポートビスケット 渡辺委員	毎年、バザーと目の見えない方の疑似体験をしています。お客様にアイマスクをしてもらってヘルパーと会場を歩くとか食べるとかを体験する予定でいます。
身体障害者福祉社会大島委員	毎年、活動内容をポスターにして写真を貼って知らせています。今年は簡単な折り紙などを150個用意して配布します。いきいきプラザ大会議室にお越しいただければと思います。
手をつなぐ育成会高田委員	例年通り、ポスターで活動内容を展示しています。
ろう者の会 大槻委員	例年通り、手話を皆さんに覚えていただきたいと思います。伝える内容としては動物とか飲み物を考えています。ポスターを貼って見てもらいます。上三川の手話サークルと一緒にやります。
(福)こぶしの会 神山委員	毎年、シュシュで焼いたパンを販売します。また、手作りの小物も販売いたします。是非お立ち寄りください。

スマイル上三川 笹島委員	例年通り、活動紹介をパネルでやります。今年度から始めた飲食を提供するということでカレーと焼き菓子を販売します。
(福) 幸知会石川委員	昨年通り、ラーメンの販売と利用者が栽培した生キクラゲの販売をします。ラーメン一杯は500円、生キクラゲ100グラム200円で販売します。
スマイルサポート上三川 松本委員	普段の活動の様子だったり、イベントで劇団さんが来てくれたのでイベントの写真を展示する予定です。
飯田会長	最後に、各コーナーにお願いしたいことがあります。町政70周年ということで70にちなんだものを考えてもらえばと思います。例えば、輪投げで70点入ったら商品がもらえるとか70にちなんだものでお願いしたいと思います。是非、当日ご来場いただければと思います。
	それでは、以上で本日の議事を終了します。 進行を事務局にお戻しします。
信夫補佐	ありがとうございました。 次第の4その他に入りたいと思います。お集まりの皆様から何かありますでしょうか。
高田緑委員	手をつなぐ育成会の会長をしています。保護者の方より自立支援協議会の皆様に会の実情を知っていただきたいという声があり、町や子供への不安がありましたので時間をいただきたいと思います。まず、手をつなぐ育成会とは、一般社団法人手をつなぐ育成会という全国組織となっています。重度の知的障害者は奇声を上げたり、手を上げたりして言葉が出ません。自傷行為ったり、ストレスが溜まると壁をたたいたり、奇声を上げたり、とにかく周囲の方とコミュニケーションが取れない、これが障がい者

です。なかなか皆様のご理解が難しいところかと思います。支部として、上三川町には会員数が親の加入が26名、本人が28名、年齢は上が64歳、下が8歳、平均年齢が42、4歳、国分寺特別支援学校に8名、上三川の中学校支援学校1名、活動としては研修会や親睦会となっています。研修会は親亡き後の将来の心配、成年後見の勉強も社会福祉協議会に教えてもらって勉強しています。会員同士の親睦会、クリスマス会、高齢者スポーツ大会にも参加しています。

問題点として歳を取った親70代80代の親が5、6人います。娘息子は50代です。老障介護で歳を取った親が50代の娘息子の面倒を見ています。日中通所はしているが、自宅に帰ると80代の親がご飯を食べさせお風呂に入れさせる家族が5、6家族います。手をつなぐ育成会員の就学児者を持つ保護者の意見をプリントでお配りしました。たくさんのお意見をいただいた中、抜粋して来ましたので読みます。

現在の問題点・困っていることとして「生活介護やB型施設は預かる時間が短いので日中一時支援などのサポートを充実させてほしい」これは卒業後の18歳の壁と言いますが、高等部までは放課後デイサービスで18時頃まで預かってもらえます。しかし、卒業後は、生活介護やB型事業所は基本は親の送迎となっています。今までは18時まで仕事が出来ていた親が15時、16時で事業所へ迎えに行かなくてはならなくなります。送迎で忙しくなってしまいます。「放課後休日に預かってくれる施設が足りない」「放課後デイが少ない」「プールは多目的着替え室がないために異性の親と利用できない」お母さんが息子をプールに連れて行くとお母さんは更衣室に入れません。着替えができるお子さんではないので親が全介助となります。そうなるとプールの利用が難しくなります。また、将来の心配事で「軽度向けでなく重度知的障害者（強度行動障害）が入居できる施設が全国的に少ないので、既存の施設へ働きかけを強化してほしい」「卒業後に通えるB型事業所や生活介護が少ない」「現在上三川町在住で国分寺支援学校卒業後に支援が必要な子供は15名ほどいて受け入れる施設は足りな

	いが、新設など今後について町の考えを知りたい」「ショートステイ出来る施設を整えてほしい」その他伝えたいこととして「現状の把握と障がい者家族に関心を持っていただき、上三川町に住んでいる障がい者の未来と一緒に考えていきたい」「誰もが障がい者になる可能性がある」「障がい者の緊急避難所にいきいきプラザの注釈に「高齢者障がい者乳幼児その他に特に配慮を要する者」とありますが、部屋割りなど配慮をお願いしたいです。知らない人が苦手、子供の泣き声が苦手、サイレンの音が苦手という方がいますので配慮をお願いしたいと思います。上三川町に生まれいろいろな方と関わり合いを持ち、地域の中で自然に安心で安全に暮らしていただけるよう育成会も頑張ります。若いご家族に継承して子供たちが暮らしていくたらと思っております。
信夫補佐	その他、何かありますでしょうか。
笛島委員	本日配付した資料に飲食店のチラシがあります。以前はパン屋をやっていたところが飲食店としてリニューアルオープンさせてもらいました。ご周知いただけたらと思います。ご来店お待ちしております。
信夫補佐	以上を持ちまして令和7年度第2回上三川町地域自立支援協議会を閉会いたします。本日は、お集まりいただきまして、ありがとうございました。お疲れ様でした。